



トレイルO大会を数多く開催している京葉OLクラブ、今回はトレイルOで初の地図交換のある大会となった。

■ 細長いテレイン ■

京葉南房総大会の一日目が行われた「富津市民ふれあい公園」は埋立事業に伴って造成された緩衝緑地でその性格上非常に細長く長さ約4km、幅50m～300mという場所で、ほぼ中央に位置する芝生広場を会場に北東側でスプリントO、南西側でトレイルOの競技が行われた。テレインのタイプは芝生広場、遊具広場などのある公園テレインであるがトレイルOで使用するエリアは幅100m程度しかない。そのためであろう今回の大会ではトレイルOで初めて地図交換が行われた。コースはTAクラスが前半6コントロール+TC（タイムコントロール）+後半6コントロールとなっており地図交換をかねた折り返し地点にTCが設けられていた。

大会を開くにはそこそこの広さが必要ではと考えてしまうが狭いテレインでも工夫次第で本格的な大会が開けることを証明したような大会となった。

TAクラス上位10名の成績

1	福田 雅秀	13点	54.5秒
2	山口 尚宏	12点	11.5秒
3	田代 雅之	12点	15.5秒
4	中尾 吉男	12点	17.5秒
5	八重樫 集	12点	18.5秒
6	松川 清一	12点	45.5秒
7	谷村 正樹	11点	12.0秒
9	西田 伸一	11点	12.0秒
7	茅野 耕治	11点	12.5秒
10	荒井 正敏	11点	35.5秒

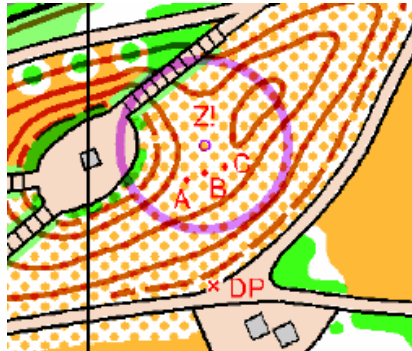
■ これは簡単 ■

8番 あんぶ は他のコントロールがフラッグを4,5個使った中で唯一フラッグ3個のコントロールであった。一見簡単そうに思えるよう組まれたコントロールであったが正解率は全コントロールの中で最低の32%となった。



8番 あんぶ

DPからは3個のフラッグが尾根線上にならんでいるように見えるので一番低い位置のBを解答とし間違った競技者が多かった。真東から見ると正解のフラッグはあずま屋の北のふちと重なって見えるはずだが3個のフラッグとも外れていて正解はZであった。



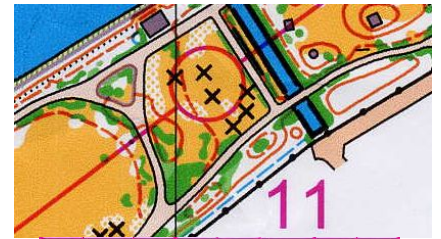
■ あれ！同じ？ ■

11番に来て競技者は「おやっ？」と思っただろう。前半の5番と同じフラッグ群を使用している上に丸の中心まで同じだ。ただし11番のDPは一番左

側のフラッグが見えない位置に設けられていた。正解のフラッグは前半でわかっているとその記憶だけで答えると同様。今回のレースは制限時間をぎりぎりまで使った競技者は多くはなかったようだが時間が押している競技者にとっては終盤にきてこの設問は落とし穴であった。



5番 A-E



11番 A-D

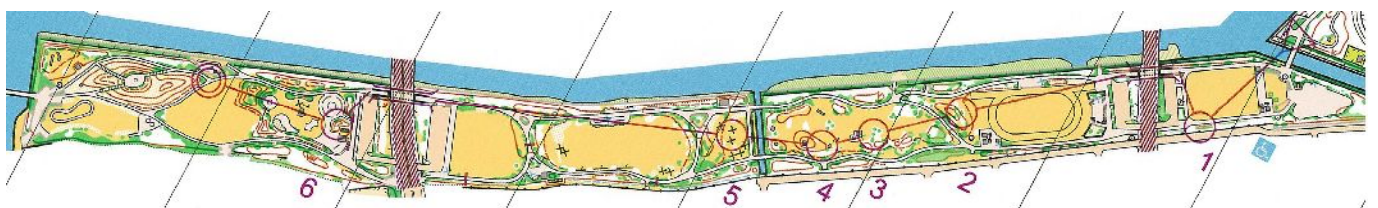
5番と11番は同じ場所だが11番はA-Dと1つ少ない

■ PC版「TC練習板」■

今回1位となった筆者ではあるがTCのタイムは正解者の中で最下位である。そこで本誌2007年2月号12ページで紹介されている杉本さん製作「TC練習板」をもとに計時機能を加えたものを作成してみた。

下記URLからダウンロード可能。
<http://www.asahi-net.or.jp/~zj5m-fkd/timectrl/>

(福田雅秀)



Aコース前半の地図（右に回転して部分掲載）

第 29 回京葉オリエンテーリングクラブ南房総大会に参加して

港南 OLC 高柳宣幸

トレイルO、TAクラスに障害者参加者（私は、中途障害者です）が、一人でさびしかったです。初めてのTAクラス参加で、ポイントをつかむ感覚が分からず苦勞致しました。今後、ポイントをつかむ感覚を身に付ける練習を行なってゆこうと考えおります。特に、正解なしのポスト位置確認の判断をする訓練を考えております。

出来ましたらば、正解表と一緒にコース解説書が付いていましたら、それを基に再度コースを回って見たかったです。次回も、TAクラスに再度挑戦いたします。

障害者にトレイルOを広めるために、私なりに考えを述べます。

1. 会場までの交通機関（アクセス）の利便性

東京都、代々木公園・国営昭和記念公園は、障害者として参加は、楽でした。

2. 受付開始時間からスタート開始時間までの時間管理（受付開始時間、スタート時間の変更）

参加する時は、受付開始時間から競技時間を計算して帰省時間を考えて参加しております

3. ゴール後、初めての参加者に対して、時間を決めてコース解説をお願い致します

コースセッターは、どんな考えでポスト位置を決めたのか、競技参加の時活用したいです。

4. 障害者にトレイルOの広報活動

トレイルOを今後いかにして、障害者に参加を呼び掛けていくか今のところ、私にも分かりません。まず、OLを身近なところで開催をして参加を呼びかけて行く事かと考えます。また、地図・コンパス・カードを如何に、身に付けて競技するか検討の余地は、あると思います

（港南 OLC 高柳宣幸）

特定非営利活動法人(NPO 法人)トレイル・オリエンテーリング協会設立のお知らせ

日本トレイル・オリエンテーリング研究会は、平成 20 年 11 月 5 日付けで解散し、特定非営利活動法人トレイル・オリエンテーリング協会として発足致しました。

これまでのトレイルO研究会にご協力いただきまして、ありがとうございます。新しい組織のNPO法人トレイル・オリエンテーリング協会になりました。従来同様にご協力、ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人トレイル・オリエンテーリング協会

会長 田中 博

東海学連ミドルセレレポート

松澤俊行

12月21日（日）、静岡県屈指の好トレイン「丸火自然公園」にて、インカレミドルに向けての東海地区代表選考会が開催された。

このレースで決定されるのは、男子代表16名と女子代表7名。なお、崎田孝文、寺村大、小林知彦（以上名古屋大学4年）、片岡裕太郎（名古屋大学3年）、青山由希菜（椋山女学園大学4年）の5名は、過去の実績から、既に東海学連代表に決定しており、このレースの運営に携わっていた。

選考会コースは、きつい登りが待ち受ける神奈川県でのインカレミドルを意識し、アップ率が7~8%に設定された。緩斜面でのスピーディなナビゲーションを問うため、アップ率を5%以内に抑えることが多い富士トレインでのレースでは、異例といえる。それでも、タフなレースとなることを覚悟して準備を重ねた選手たちは、当日も登りに挫けることなく健闘を見せていた。

上位の結果は以下の通り。今や「最強学連」の呼び声も高い代表選手たちの、3月・神奈川での活躍に期待したい。

女子選考クラス上位

- | | | |
|---|-------|-----------|
| 1 | 疋田はるか | 椋山女学園大学4年 |
| 2 | 水野日香里 | 椋山女学園大学2年 |
| 3 | 佐久間風花 | 椋山女学園大学2年 |

男子選考クラス上位

- | | | |
|---|------|---------|
| 1 | 松井健哉 | 名古屋大学2年 |
| 2 | 大牧勇人 | 名古屋大学3年 |
| 3 | 谷川友太 | 名古屋大学3年 |



終盤は外周道付近まで駆け上がる登り基調のコース